

平成 30 年度

東京都教職員研修センター紀要

第 18 号

平成 31 年 3 月

はじめに

東京都教職員研修センターでは、都内公立学校における教育課程、学習指導等の改善・充実に資するため、毎年、東京都の学校教育が直面する教育課題の解決を図る「教育課題研究」に取り組むとともに、その内容を紀要にまとめ、普及・啓発を図っています。

平成29年3月には小学校及び中学校、平成30年3月には高等学校の次期学習指導要領が告示されました。今般の学習指導要領においては、教育課程を通じて、子供たちが変化の激しい社会を生きるために必要な資質・能力とは何かを明確にし、教科等を学ぶ本質的な意義を大切にしつつ、教科等横断的な視点をもって育成を目指していくこと、社会とのつながりを重視しながら学校の特色づくりを図っていくこと、現実の社会との関わりの中で子供たち一人一人の豊かな学びを実現していくことなどが課題とされています。

このことを踏まえ、各学校においては、今後のグランドデザインを構築するなど、組織的・計画的に進行管理を進める必要があります。当センターは、学校が適切に対応できるよう、今年度、以下の二つの研究に取り組みました。

第1に、「社会に開かれた教育課程を実現するカリキュラム・マネジメント — つながりを重視した学校の特色づくりを通して —」です。この研究では、各学校の特色を生かした教育課程の編成・実施・評価・改善を、組織的に推進するために、各教員のカリキュラム・マネジメントに係る意識等の傾向を明らかにすることができる「カリキュラム・マネジメントセルフチェックシート」等を開発しました。

第2に、「児童の情報活用能力の育成 — 小学校段階におけるプログラミング教育の推進を通して —」です。この研究では、学習の基盤となる資質・能力の一つである情報活用能力の育成を図るために、各教科等の授業を通して、論理的・創造的に思考し課題を発見・解決していく力である「プログラミング的思考」を育てることができる学習指導案の作成方法と授業の展開モデルを開発しました。

各教育委員会及び学校におかれましては、本紀要に掲載した二つの研究の成果を教職員間等で広く共有していただくだけでなく、各学校における教育課程、学習指導等の改善・充実に向けて活用していただければ幸いです。

当センターの教育課題研究の推進に当たり、関係教育委員会をはじめ、検証授業及び調査等に御協力いただいた学校の先生方、多くの御示唆や御助言をいただいた講師の方々に御礼を申し上げます。

平成31年3月

東京都教職員研修センター所長 増淵 達夫

目 次

1 社会に開かれた教育課程を実現するカリキュラム・マネジメント — つながりを重視した学校の特色づくりを通して —	3
2 児童の情報活用能力の育成 — 小学校段階におけるプログラミング教育の推進を通して —	23
参考文献・資料等	48
研究に携わった所員・教員研究生・研究協力校	49